

第二地銀協地銀の平成 19 年度中間決算の概要について

〔平成 19 年 12 月 13 日〕  
〔(社)第二地方銀行協会〕

当協会では、会員行の平成 19 年度中間決算を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

企画部：小室、常川

：03 - 3262 - 2470、2528

平成 19 年度中間決算の概要について

平成 19 年 12 月 13 日  
(社) 第二地方銀行協会

会員行の平成 19 年度中間決算(単体)の概要は以下のとおり。

(注) 計数は平成 19 年 9 月末時点の会員行 45 行ベース。

1 . 損益概況(業務純益:1,884億円、経常利益:1,287億円、中間純利益:784億円)

平成 19 年度中間決算における業務純益は、前年同期比 20 億円、1.1%減少して 1,884 億円、経常利益は同 +496 億円、+62.8%増加して 1,287 億円、中間純利益は同 +423 億円、+117.4%増加して 784 億円となった。

業務純益は、一般貸倒引当金繰入は減少したものの、役務取引等利益が伸び悩むなか、資金利益が減少したうえ、経費の増加もあって減益となった。

また、経常利益は、業務純益が減益となったものの、個別貸倒引当金繰入等の与信費用の減少から増益となり、この結果、中間純利益も大幅増益となった。

2 . 業務純益の状況

(1) 資金利益(5,291 億円)

資金利益は、前年同期比 43 億円、0.8%減少して 5,291 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高は増加したものの、利鞘縮小により同 168 億円、3.8%減少して 4,201 億円となった。

一方、有価証券利息配当金は、国債を中心とした有価証券残高の増加および利回の上昇により同 +111 億円、+11.7%増加して 1,064 億円となった。

(2) 役務取引等利益(492 億円)

役務取引等利益は、投信窓販業務に係る手数料収入の増加を主因に、前年同期比 +19 億円、+4.2%増加して 492 億円となった。

### (3) 経費（3,811 億円）

経費は、前年同期比 +66 億円、+1.8%増加して 3,811 億円となった。

これは、物件費がバーゼル や内部統制等の制度対応に伴うシステム化関連費用等の増加から、前年同期の実績を上回ったことによるものである。

また、人件費は微増となった。

### 3 . 不良債権比率（4.50%）

金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権）は、平成 19 年 3 月末比 +61 億円、+0.3%増加して 1 兆 9,340 億円となったが、不良債権比率（開示債権の総与信額に占める比率）は同 0.02%<sup>〇</sup> 引低下して 4.50%となった。

### 4 . 単体自己資本比率

単体自己資本比率は、平成 19 年 3 月末比 +0.16%<sup>〇</sup> 引上昇して 9.77%となった。また、Tier 比率は、同 +0.15%<sup>〇</sup> 引上昇して 7.61%となった。

### 5 . 預金・貸出金（未残）

預金（未残）は、前年同期末比 +9,377 億円、+1.7%増加して 55 兆 2,134 億円となった。

一方、貸出金（未残）は、前年同期末比 +7,070 億円、+1.7%増加して 42 兆 2,248 億円となった。

以 上

## 1. 損益の内訳

(単位：百万円、%)

	平成19年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
業務純益	188,481	2,088	1.1
業務粗利益	570,968	606	0.1
資金利益	529,146	4,346	0.8
預貸金収支	420,104	16,818	3.8
有価証券利息配当金	106,453	11,108	11.7
役務取引等利益	49,242	1,995	4.2
その他業務利益	7,449	2,940	-
国債等債券関係損益	162	6,945	-
経費 ( )	381,109	6,601	1.8
一般貸倒引当金繰入額 ( )	1,346	3,911	74.4
臨時損益	59,529	51,828	-
個別貸倒引当金繰入額 ( )	71,225	28,226	28.4
株式等関係損益	22,961	376	1.7
経常利益	128,739	49,651	62.8
特別損益	10,400	5,132	97.4
税引前中間純利益	139,141	54,776	64.9
法人税、住民税及び事業税 ( )	61,083	14,043	29.9
法人税等調整額 ( )	422	1,629	-
中間純利益	78,456	42,369	117.4

(注) 1. 計数は、平成19年9月末現在の全会員行45行ベースである。

2. 実質業務純益 = 業務純益 - 一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益 = 実質業務純益 ± 国債等関係損益 (損超ならば加算、益超ならば減算)

4. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息

5. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却

6. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

## 2. 平成19年度中間決算の個別行の状況

(単位：行)

	業務純益	経常利益	中間純利益
増益行	18	19	15
減益行	27	26	30

### 3. 経営諸指標

(単位：%、%ポイント)

	平成19年度 中間期	
		前年同期比
貸出金利回 (A)	2.43	0.14
有価証券利回	1.59	0.14
資金運用利回 (B)	2.18	0.12
預金債券等原価 (C)	1.68	0.19
預金債券等利回	0.30	0.19
預金利回	0.30	0.19
譲渡性預金利回	0.53	0.35
経費率	1.38	0.00
人件費率	0.69	0.01
物件費率	0.60	0.01
税金率	0.08	0.00
資金調達利回	0.34	0.19
資金調達原価 (D)	1.70	0.19
預貸金利鞘 (A-C)	0.75	0.05
総資金利鞘 (B-D)	0.48	0.07
預貸率(未残)	74.92	0.19
" (平残)	74.66	0.45
預証率(未残)	24.17	0.18
" (平残)	24.14	0.03
コア業純ROA	0.63	0.05
コア業純ROE	13.44	1.47
コア業務粗利益OHR	66.72	1.87

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365 / 183) / 総資産平残 × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365 / 183) / 純資産平残 × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

### 4. 経費の内訳

(単位：百万円、%)

	平成19年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経費	381,109	6,601	1.8
人件費	191,220	895	0.5
給与	118,543	1,356	1.2
賞与	31,985	96	0.3
物件費	167,254	5,712	3.5

## 5. 金融再生法開示債権

(単位：百万円、%、%ポイント)

	平成19年度 中間期末	平成19年3月末比	
		増減額	増減率
破産更生等債権	456,955	8,210	1.8
危険債権	1,009,822	2,896	0.3
要管理債権	467,274	4,992	1.1
開示債権 A	1,934,051	6,114	0.3
正常債権	40,981,981	289,581	0.7
合計 B	42,916,098	295,703	0.7

金融再生法 開示債権比率 A/B	4.50	0.02
---------------------	------	------

## 6. リスク管理債権

(単位：百万円、%、%ポイント)

	平成19年度 中間期末	平成19年3月末比	
		増減額	増減率
破綻先債権	137,858	4,497	3.4
延滞債権	1,306,116	7,111	0.5
3カ月以上延滞債権	12,519	1,768	16.4
貸出条件緩和債権	454,708	6,735	1.5
合計 A	1,911,261	6,635	0.3

貸出金 B	42,224,826	287,057	0.7
リスク管理債権比率 A/B	4.52	0.02	
貸倒引当金 C	699,037	8,345	1.2
引当率 C/A	36.57	0.57	

7 . 単体自己資本比率

( 単位 : 百万円、%、%ポイント )

	平成19年度 中間期末	平成19年3月末比	
		増減額	増減率
Tier (A)	2,597,146	75,724	3.0
Tier (B)	741,772	5,695	0.8
うち負債性資本調達手段等	453,920	3,451	0.8
自己資本総額 (A) + (B) (C)	3,338,941	81,418	2.5
控除項目 (D)	7,707	1,391	15.3
自己資本額 (C) - (D) (E)	3,331,225	82,813	2.5
リスク・アセット合計 (F)	34,093,215	294,765	0.9
自己資本比率 $\frac{(E)}{(F)}$	9.77	0.16	
Tier 比率 $\frac{(A)}{(F)}$	7.61	0.15	

## 8 . 主要勘定の内訳 ( 未残 )

( 単位 : 百万円、 % )

	平成 19 年度 中 間 期 末	前年同期末比 増 減 額	前年同期末比 増 減 率
貸出金	42,224,826	707,076	1.7
有価証券	13,527,070	349,156	2.6
国債	6,414,478	154,703	2.5
地方債	652,587	20,245	3.2
社債	2,711,903	23,785	0.9
株式	1,341,055	77,127	5.4
外国証券	1,496,570	3,277	0.2
その他の証券	907,366	228,686	33.7
商品有価証券	19,008	5,360	22.0
金銭の信託	117,683	111,870	48.7
コールローン	1,537,396	513,072	50.1
運用勘定計	57,811,270	1,380,988	2.4
繰延税金資産	320,796	21,811	6.4
資産 計	60,693,055	1,013,635	1.7
預金	55,213,395	937,718	1.7
譲渡性預金	751,603	114,187	17.9
コールマネー	28,574	80,935	73.9
調達勘定計	56,702,727	1,060,776	1.9
繰延税金負債	50,604	11,062	17.9
負債 計	57,769,987	944,317	1.7
純資産 計	2,923,048	69,319	2.4
負債及び純資産 計	60,693,055	1,013,635	1.7

( 注 ) 会社法施行に伴い、前年同期の「資本」勘定は「純資産」勘定に読み替えた。

以 上